

News Release

2023年5月25日
独立行政法人製品評価技術基盤機構
NITE（ナイト）
東北支所

夏に急増するのは熱中症だけではありません！
～エアコン・扇風機の火災事故に注意～
（東北版資料）

1. 事故の発生状況

2018年度から2022年度までの5年間で、NITEに通知があった製品事故情報^{※1}では、エアコン^{※2}及び扇風機^{※3}の件数は合計409件（エアコン：343件、扇風機：66件）発生しており、そのうち東北地方6県（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）では12件（エアコン：11件、扇風機：1件）の事故がありました。

被害状況は死亡1件、重傷1件、軽傷1件、拡大被害5件、製品破損4件となっております。

表1 製品による「エアコン及び扇風機[※]」の年度別事故発生件数

発生年 \ 発生県	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	合計
2018年度	1	0	0	0	0	0	1
2019年度	0	0	2	0	1※扇風機	0	3
2020年度	0	0	2	0	0	1	3
2021年度	0	0	0	2	0	1	3
2022年度	0	0	2	0	0	0	2
合 計	1	0	6	2	1	2	12

表2 製品による「エアコン及び扇風機[※]」の被害状況別発生件数

被害状況 \ 発生県	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	合計
死亡	0	0	1	0	0	0	1
重傷	0	0	1	0	0	0	1
軽傷	0	0	1	0	0	0	1
拡大被害	1	0	2	2	0	0	5
製品破損	0	0	1	0	1※扇風機	2	4
被害なし	0	0	0	0	0	0	0
合 計	1	0	6	2	1	2	12

表3 製品による「エアコン及び扇風機※」の原因区分別発生件数

発生県 原因区分		青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	合計
製品に起因する事故	A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの	0	0	0	0	1※扇風機	0	1
	B: 製品及び使い方に問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0
	C: 経年劣化によるもの	0	0	0	0	0	0	0
	G3: 製品起因ではあるが、その原因が不明のもの	0	0	1	0	0	1	2
製品に起因しない事故	D: 施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	0	0	1	1	0	0	2
	E: 誤使用や不注意によるもの	0	0	1	0	0	0	1
	F: その他製品に起因しないもの	0	0	0	1	0	1	2
G1、G2: 原因不明のもの		1	0	2	0	0	0	3
H: 調査中のもの		0	0	1	0	0	0	1
合 計		1	0	6	2	1	2	12

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含み、事故発生年月が不明なものを除きます。

(※2) ルームエアコン（室外機、室内機いずれも含みます）。

(※3) サーキュレーターや電気冷暖風機、電源がソーラー発電・乾電池・USB端子により給電するもの（携帯用扇風機など）は除きます。

2. 主な事事故事例

○ 2020年1月4日 エアコン（宮城県、50歳代男性）

事故内容： 当該製品を使用中、当該製品内部及び周辺を焼損する火災が発生した。

事故原因： 使用者は4～5年前に市販のスプレー式洗浄剤で清掃を行ったことがあるとの申出内容であった。当該製品の外部から洗浄剤成分が浸入し、ファンモーターのコネクター部に付着したことにより、端子間でトラッキング現象が生じて出火に至ったものと考えられる。なお、取扱説明書には、「洗浄は自身で実施せず、販売店又は事業者修理相談窓口にご相談する。誤った使用方法で内部洗浄を行うと、発煙、発火する恐れがある。」旨、記載されている。

○ 2020年9月11日 エアコン（宮城県、年齢性別不明）

事故内容： 修理作業中のエアコン室外機が爆発して周辺を破損し、2人が軽傷を負った。

事故原因： 修理業者が気密試験に本来窒素を充填すべきところ、酸素を充填して圧縮機を運転させたため、圧縮機内部が異常高温・高圧状態となり、破裂したものと推定される。なお、据付工事説明書には、「冷凍サイクル（配管）内に空気などを混入させない。破裂、けがの原因になる。」旨、記載されている。

○ 2021年8月20日 エアコン（秋田県、年齢性別不明）

事故内容： 保育園で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

事故原因： 当該製品は2021年7月上旬に業者が清掃した際、アルカリ性洗剤を使用して洗浄が行われていた。当該製品のファンモーターのコネクター部に、エアコン洗浄時の洗浄剤が浸入、付着したこ

とにより、トラッキング現象が生じて火災に至ったものと推定される。なお、日本冷凍空調工業会では、ホームページ上において、「誤った洗浄剤の選定、使用方法で内部洗浄を行うと、エアコン内部に残った洗浄剤で、樹脂部品の破損、電気部品の絶縁不良などが発生し、最悪の場合は、発煙、発火につながる恐れがある。」旨、注意喚起を行っている。

3. エアコン及び扇風機の事故を防ぐためのポイント

○エアコンの気を付けるポイント

- ☑不具合（水漏れ・異音や異臭がする・エラー表示が出る・意図せず停止する）がないか点検する。
- ☑取り付け・取り外し・内部洗浄といった工事や作業は、専門の知識や資格を有する業者に依頼する。

○扇風機の気を付けるポイント

- ☑不具合（動きが悪い・異音や異臭がする・モーター部分が異常に熱い）がないか点検する。
- ☑使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く。

○エアコン及び扇風機共通の気を付けるポイント

- ☑点検の結果、少しでも異常がある場合には使用を中止し、専門の知識や資格を有する業者に点検を依頼する。
- ☑使用している製品がリコール対象ではないか確認し、該当製品の場合は使用を中止し事業者に連絡する。

4. 製品事故の実験映像につきまして

製品事故の写真及び動画をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。
なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構＋NITE のロゴ」としてください。

【編集人のつぶやき】

エアコン及び扇風機は使い始めると使用頻度が増加して製品にとって過酷な季節となるので、本格的なシーズンを迎える前にしっかりと点検・確認が必要ですネ。

近年では、「観測史上〇番目に早い真夏日」などの気象ニュースをよく耳にするようになりましたので早めの点検が必要になりそうです。

東北地方では暖房を使用する冬のエアコンの事故も多く発生していますので、その時期にもしっかりと点検が必要です。最近は電気料金が上がってきていますので、節約しつつ年間を通じて賢く快適にエアコンを使用していきたいものです。

（本件に関する問い合わせ先）

〒983-0833 宮城県仙台市宮城野区東仙台 4-5-18

独立行政法人製品評価技術基盤機構 東北支所(略称:NITE) ナイト

責任者(支所長):高橋 幹男

担当:齋藤(さいとう)、福井(ふくい)、成田(なりた)

電話:022-256-6423

E-mail: jiko-tohoku@nite.go.jp

NITE
ホームページ

YouTube
公式チャンネル

Twitter
公式アカウント

